

第 2 学 年 生 活 科 学 習 指 導 案

2 年 2 組 指 導 者 藤 田 恵 里 子

単 元 (題 材) としよかんたんけんたい～みんなが気持ちよく使うきまりを考えよう～

資質・能力
①活用できる知識・理解
②自ら問題を見付ける力・解決する力
③根拠をもとに筋道を立てて考える力
④自分や仲間の考えを問い直す力
⑤様々な角度から自分の考えを創り出す力
⑥自分の思いや考えを分かりやすく伝える力
⑦自分から学びに向かおうとする力
⑧仲間の考えを受けとめる力
⑨困ったときに援助を求める力
⑩自分の学びを見つめ直す力
⑪人間性(感性、達成感など)に関すること

1 単元 (題材) について

本学級の子どもたちは、読書が好きで多くの子どもが学校図書館を利用することを楽しみにしている。しかし、その利用の仕方を見ると、本を雑に扱ったり、学校図書館の机やイスの整理整頓をしなかったりと、その利用の仕方はまだ十分とは言えない。このような子どもたちが、学校図書館や県立図書館を利用し、正しい利用の仕方について考える。このことは、公共物や公共施設を大切にしようとする姿につながるであろう。

本単元は、公共物や公共施設を利用する中で、それらをたくさんの人々が利用していることや、支えている人がいることに気付き、正しく利用することができるようにする学習である。子どもたちは、図書館を利用し気付きを交流する中で、支えている人の思いや願いを知り、「みんなが気持ちよく利用するためにはどうしたらいいか」を追究していく。その際、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人がいることを実感的に分かるようにしたい。そこで、以下のような支援を具体化する。

- 学校図書館を利用した後、県立図書館を利用する単元構成を仕組む。そうすることで、学びを生かそうとする意欲を高めることができるようにする。
- 図書館の掲示物の工夫や働いている人の様子についての気付きが出た際には、「誰が」「なぜ」などと全体に問いかける。そうすることで、図書館で働いている人の思いや願いについて考えることができるようにする。
- 教室内に図書館の本や修理に使うテープなどの図書館に関する物を用意し、それらを用いて動作化しながら気付きを伝えるように促す。そうすることで、仲間の気付きの具体を捉えることができるようにする。
- 毎時間の終末に、分かったことや疑問に思ったことを観点に振り返りを行う。そうすることで、次時の学習への意欲を高めることができるようにする。

2 目 標 (公共物や公共施設の利用)

- 公共物や公共施設を支えている人々にかかわることをとおして、身の回りにはみんなで使う物やそれらを支えている人々がいることに気付き、正しく利用することができる
- 公共物や公共施設を大切にすることのよさや正しく利用することができた自分に気付き、よりよい生活をつくり出していこうとすることができるようにする。

3 評価規準

生活への関心・意欲・態度(関)	活動や体験についての思考・判断・表現(思)	身近な環境や自分についての気付き(気)
○ 図書館に関する物やそこで働いている人々を大切にしようとする意欲をもち、公共施設や公共物を大切にしようとしている。	○ 図書館や図書館に関する物の正しい利用の仕方や自分ができることについて考え、工夫している。 ○ 活動を振り返り、言葉、絵、動作、文章などを使って自分なりに表現している。	○ 身の回りには、みんなが気持ちよく利用するためのルールやマナーがあることに気付いている。 ○ 身の回りの施設や物を正しく利用することができた自分に気付いている。

4 指導計画

1 次 学校図書館を利用する (1 時間)

2 次 図書館での活動を振り返り、利用する活動を繰り返す (1 4 時間)

3 次 分かったことを伝え、学習を振り返る (5 時間)

5 本時案 【平成 28 年 6 月 8 日 13:50～14:35 2 年 2 組教室】

- (1) ねらい 図書館探検での気付きを交流することをとおして、学校図書館には、支えている人がいるということに気付き、次時の活動への意欲を高めることができるようにする。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 図書館探検での気づきを交流する (35分)</p> <p>学習内容 ・学校図書館や学校図書館を支えている人々への気づき(気)</p> <p>・ 前の時間は、図書室に探検に行ったね。</p> <p>A いろんな本棚があって驚いたよ。いつもは行かない本棚に、面白い本を見付けたよ。今度借りてみようと思ったよ。</p> <p>・ おすすめの本のコーナーがあったよ。面白かったらシールを貼れるようになっていたよ。わたしも読んでみたくなかったな。</p> <p>・ 前の日に、図書室に行ったときはそんなに紙が入ってなかったのに、探検のときは予約ポストの紙があふれそうだったよ。</p> <p>C 県立図書館の本がある本棚を見付けたよ。 なぜ県立図書館の本が学校にあるのかな。</p> <p>・ 県立図書館の人がみんなに本をたくさん読んでもらうために、学校に貸してくれているのかな。</p> <p>B 県立図書館に行けない人のために上村先生が借りてきてくれていてと思うよ。県立図書館で上村先生を見たことがあるよ。</p> <p>C 上村先生に聞いてみたら分かるんじゃないかな。図書室の先生だからね。</p> <p>・ 図書室の入り口の窓に絵本の表紙が貼ってあったよ。でも、この間行ったときと、本が変わっていたよ。 誰が変えてくれているのかな。</p> <p>・ それも、上村先生じゃないかな。みんながたくさん来てくれるように時々変えているんじゃないかな。</p> <p>・ わたしは、修理中の本を見付けたよ。修理の途中だったけど、それも上村先生がしてくれているのかもしれないな。</p> <p>C なんだかどれも上村先生につながっていくね。みんなの話を聞いて、聞いてみたいことがたくさん出てきたよ。</p> <p>・ ぼくたちが知らない、どんな仕事をしているのか聞いてみたいね。上村先生のお仕事をインタビューしてみようよ。</p>	<p>○前時の振り返りを分類しておき、関連した気づきがある児童に発言を促すことで、共通点や相違点に着目することができるようにする。</p> <p>○気づきに関わる実物や写真を用意しておき、それらを用いながら気づきを伝えるように促すことで、仲間の気づきの具体を捉えやすくする。</p> <p>○気づきを内容ごとに板書上に分類したり、色分けをして示したりする。そうすることで、多様な気づきを関連付けることができるようにする。</p> <p>○物に関する気づきが出た際、「誰が」「なぜ」などと全体に問いかけることで、図書館を支える人に焦点化して考えることができるようにする。</p>
<p>② 本時を振り返り、次時の学習の見通しをもつ (10分)</p> <p>学習内容 ・学校図書館見学への意欲(関)</p> <p>A ぼくはBくんの気づきが気になったよ。上村先生に、「なんで学校に県立図書館の本があるのですか」と聞いてみるよ。</p> <p>・ わたしは、上村先生が図書室のお仕事をたくさんしていることが分かったよ。お仕事をしている時はどんな気持ちなのか知りたいな。次に図書室に行くのが楽しみだな。</p>	<p>○「分かったこと」・「もっと知りたいと思ったこと」を観点に振り返りをさせることで、次時への意欲を高めることができるようにする。</p>

6 板書計画

